



2学期もラストスパートです

校外学習や運動会など、様々な行事があった2学期も、残すところあと16日となりました。11月に入って急に冷え込むなど、インフルエンザ等による学年閉鎖もあって、特に2学期後半は、体調を崩す子が多く見られました。本格的に感染症が流行する時期に備え、11月後半より体育の時間に「かけ足」を取り入れるなど、学校全体で体力づくりに取り組んでいます。これからますます寒くなり、家の中でゲームやネットに費やす時間が多くなって、ずるずると夜更かしする子いるかもしれません。最近では、通信機能を用いて、他者（友だちとは限りません）と繋がりながら、ゲームに興じている子もいるようです。どれだけ時間を使っているかだけでなく、だれとどのようなコミュニケーションをとっているのか、お子さんが傷ついたり人を傷つけたりする内容が含まれていないか、ぜひともご確認をお願いします。

12月は2学期の学習のまとめの時期です。ご家庭でも、しっかり朝ご飯を食べ、睡眠も十分とれるよう、子どもたちの生活が健康的に過ごせているか、チェックしていただくなどして、気持ちよく2学期を終えることができますよう、なにとぞご協力をよろしくをお願いします。



12月の行事予定

2日(月)	全校朝会	11日(水)	読み聞かせ(4~6年)
3日(火)	防災教室(4年)	12日(木)	あいさつ運動
4日(水)	英語力アセスメント(6年)	16日(月)	しめ縄教室(3年)
5日(木)	委員会	19日(木)	給食終了 13:00下校
	ひまわり・ステップ個人懇談(~10日)	20日(金)	分団会 11:20下校
6日(金)	読み聞かせ(1~3年)	23日(月)	終業式 11:20下校
9日(月)	人権朝会	冬休み 12/24~1/6 3学期始業式 1/7(火)	

ふれあい体験教室

11月29日に実施した「ふれあい体験教室」には、多くの保護者や地域の方々にご参観いただき、まことにありがとうございました。先にリーフレットでご紹介したとおり、この行事は、「人とのふれあいを通して普通の学校生活では味わえない体験をすることで、豊かな人間性や社会性を育む」ことをめざして実施しました。調べてみると、1997年度から始まった「山の辺ふれあい祭」という学校・PTA行事に体験教室という言葉が初めて出てくることから、この行事は、28年前にスタートしたことが分かりました。

今年度は、より地域とのつながりを重視し、地域の方々にも多く講師をお願いしました。また、児童数の増加もあって、講座数も2つ増えて18講座となるなど、他校区にはない一大行事となりました。

このような行事をできるだけ負担なく行うために、その大きな力となっているのが、地域コーディネーターの存在です。本校には、3名の地域コーディネーターがいて、学校と地域をつなぐ役割を担っていただいています。

さらに山の辺校区では、9月2日号でもお伝えしたとおり、2022年に「ワガマチ合考やまのべ」を立ち上げ、教育と福祉を真ん中に置いた地域連携について話し合っています。今年は何か具体的な活動をということで、春休みと夏休みに「ワガマチ合考の日」を実施しました。冬休みも、12月24日(火)に、「防災」をテーマに実施を予定しています。多くの方々のご参加をお待ちしています。

コーディネーターのご紹介

- 桑原正弘さん【代表】
(前PTA副会長)
- 鳥山淳一さん
(元本校校長)
- 松波宏昭さん
(前東部公民館長)